

血を以て綴る 犠牲を以て綴る

怖るべき古河の積悪は次から次にばれ出した
 たまりかねた古河は狂気の如く逆上して
 主任官本を初め全勞務と雜役が暴力團化し
 尙手不足で多数の暴力を飼つた
 卑怯にも夜になつて夜盗の如き覆面で爭議團員を
 襲ひ馬賊の如く人命を傷害した

諸君！血盟爭議團員の決意は愈々固し！！

設備不完全な坑内で傷き其上醫局や保険係共に虐げ
 られて生地獄の責め苦にさいなまれるよりも十二萬
 の兄弟の犠牲の花と散つたが本望だ

組合では時を移さず

- 一、主任官本初十數名を告訴し傷害罪を問ふて居る
- 二、設備不完全其他の違反を擧げ鑛山監督局の實地調査を求

めた

三、保険組合と醫局の違法をあげいて處分を求めた
 今に見よ！！悪運つきて古河が諸君の前にクダバルぞ！！

全勞働者幸福と地位を得る途は斯ふだ

(イ) 組合の主管官廳に炭坑の悪罪をあげき終つて全従業員の痛
 ましい立場を一渡り世間に廣めて

(ロ) 一旦戦機の熟するの時、一つの知らせを合圖としワアーツ
 と一齊に起ちあがつて全員一ヶ所に集合し働かざること廿
 四時間

(ハ) 只それだけで炭坑屈伏賃金値上其他勝利萬歳！！

爭議は斷じて暴力にあらず暴動にあらず

古河の暴力を防ぐが爭議團の役目だ

全員はただ卑怯なるロマヌル不心得者を抑へつけて